長崎市立大園小学校　校長室だより　Ｎｏ５１

5月 今日の一言

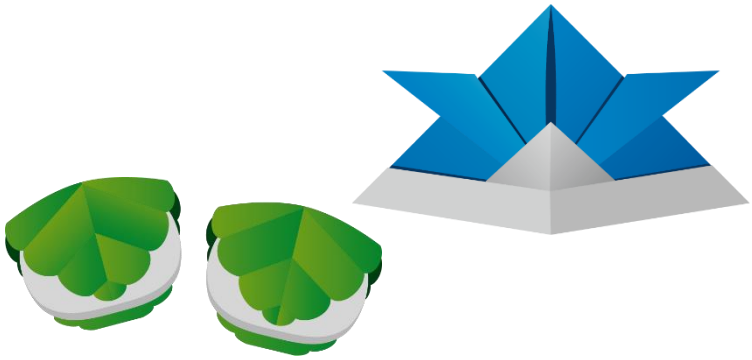
７．５．８　校長　渕上　卓也

話をすること

連休明け、学校に子どもたちの元気な声が、大園小に戻ってきました。入学、進級から一か月が過ぎ、丁度リフレッシュになったのではないでしょうか。

渕上は、特に予定はなく、自宅で過ごしました。孫が遊びに来てくれたので、いや娘夫婦から預けられたので、久しぶりに長い時間、一緒にいました。まだ７か月、発する言葉は「バブバブ」「テッテ」「エーイエーイ」・・・。一生懸命私の顔を見つめ、何かを伝えようとする孫の話に、勝手な解釈を加え「そうね、そんなにじいちゃんが好きとね。」「じいちゃんとおったら、幸せてね。」・・・と、話を返した次第です。きっとそう伝えたかったはずです。

連休前のことですが、１年生の男の子から、「校長先生、お話をしてくれて、ありがとうございました。」と丁寧なお礼を言われました。時々、給食時間に、写真のマイクを使って、全校のみんなに話をすることがあるのです。その１年生がお礼を言ってくれた日にも、全校放送をしました。渕上の話をしっかり聞いてくれていたのでしょうね。お礼まで言ってくれるのですから、子どもたちの心に言葉が届くように、しっかり考えて話をしなければならないと思った渕上でした。「話をすること！！」子どもたちの期待に応えなければなりません。

ただし、実は渕上が給食時間に全校放送で話をするときは、生活態度の注意をする時がほとんど。お礼を言われた話の内容も、注意する内容で・・・(^_^;)せっかくおいしい給食を食べている時ですから、これからは「褒め言葉」いっぱいの話もしていきたいと思います。「校長先生が好き。」「校長先生とおったら、幸せ。」と思ってもらえるように！！

＜今日の一句＞
子どもたち
お話聞くの
大好きだ　卓也